



特別養護老人ホームみちのく荘 まるめる通信

【まるめる通信 / 第93号】

発行日 / 2013年3月24日
発行 / 青森社会福祉振興団
みちのく荘 0175 (23) 1600
みちのく金谷デイ 0175 (23) 0771
城ヶ沢みちのく荘 0175 (24) 3163
脇野沢いこいの里 0175 (31) 5611
Eメール / marumelo@michinokuso.or.jp

私の小径
こみち

思い出がいっぱい染み込んだ愛着ある我が家。
これからも家族みんな健康で暮らしたい。

小林 イトさん 昭和6年生まれ 81歳 / 秋田県出身



「宝物は家族。皆が健康でいられればそれ以上のことはない。」と口を揃える仲の良い二人です。

小林さんは平成12年、神経性の病気を発症しました。力仕事から針仕事まで何でも器用にならず働き者でしたが、手足が思うように動かさなくなり、月に何度も病院に通わなければなりません。そんな時、病院で当法人の訪問看護師と知り合い、主治医に相談し4年前から訪問看護サービスを利用することになりました。週3回、理学療法士や看護師が自宅に来て健康状態を確認し、必要な看護サービスを受けるなど、その日の体調に合わせて歩行訓練をします。頻回な通院がなくなると生活にゆとりがで、自宅で専門的なりハビリをうけることで、家の中のスムーズな動き方や介助方法などが具体的にわかり、実践できるようになりました。

20歳過ぎ、大畑に嫁いでいた姉を頼ってむつ市へ移住しました。営林署で調理員として働き、営林署職員だった夫と出会い結婚しました。夫の実家に3年ほど同居した後、市内に家を借り、自分たちの家を建てるためヒバ・マツ・スギなどの材料を夫が運び、昭和39年頃、むつ市海老川町に現在の自宅を構えました。息子たちが大きくなってからは、知人に頼まれ、むつ総合病院の看護師たちの子どもを自宅で預かる仕事を引き受けました。「小さい子がいる看護師たちが安心して働けるように、自分も役に立てるんじゃないかと思って始めました。子どもの体調が悪い時は心配で大変なこともあったけど、嬉しいことや面白いこともたくさんありました。」と近時を懐かしそうに振り返ります。子どもの親たちからは大変感謝され、毎年お盆や正月には、この家で育った子どもたちが「たぐい〜」「おはちゃん、来たよ〜」と元気な姿を見せにやってきました。「あの子たちにとって私は第二の母、この家は第二の我が家。みんながいつても帰ってこれるように、私も元気でいなくちゃ。」母として、人として、相手を思う気持ちが小林さんの生きる力です。

記 / 村林 優里

当法人は、昭和50年に下北では最初の特別養護老人ホームとしてみちのく荘を設立して以来、むつ下北地区に事業を展開してきました。施設が増えるごとに利用者や職員の数も増加。また、今年はクリニックも開設します。規模が拡大してもすべての施設でこれまでと変わらないサービス、統一したサービス、「見える化」に基づくサービスの提供を目的とし、私たちはISO9001の認証取得に取り組みました。



ISO9001とは…1987年に制定、品質管理及び品質保証に関する国際規格。よい製品やサービスを提供することで「お客さまに満足してもらうこと『顧客満足』」を目指す仕組み（システム）。

イチオシ！
シリーズ⑬

社会福祉法人
青森社会福祉振興団

全ての事業所において
ISO9001
認証取得

立派で機能的な建物や備品だけでは福祉は成り立ちません。人の「心と手」が融けあって生みだされる人間の力があってこそその福祉。私たちは、福祉の現場に携わっている人たちの力を信頼しサービスの品質向上を目指すためISOを取得しました。私たちの提供するサービスを誰もが安心して利用できるという証。それがISO9001の認証です。

やさしい街づくりを応援しています。

グループホーム
スプリングラー整備万全!!
グループホームを含む法人施設はスプリングラーの点検を消防法に基づいて年2回行っており、整備は万全です。また、避難、防火といった総合防災訓練も各事業所で実施しています。訓練は夜間を想定したものなど多様な火災発生パターンを考慮し定期的にを行っています。スプリングラーは、各施設に設置しています。

海・山なくして、下北半島は語れない。
総合食品卸問屋
大市
株式会社
青森県むつ市大曲二丁目14番33号
TEL 0175-22-5525
FAX 0175-22-7172

快適な環境づくりのお手伝い
○介護用品のレンタル・販売
(車いす・ベッド・リハビリ機器他)
○住宅改修
株式会社 **シルバーサービス**
〒035-0033 むつ市横町2-9-13
TEL 0175-22-9511

株式会社 東北環境サービス
TEL 0175-22-3927
住まいの
お掃除屋さん

介護福祉士国家試験を終えて



スリスワントさん

ムルヤダイヌグラハ
1月27日、介護福祉士の国家試験を受けました。
今回の試験は、難しい問題とそうでない問題が混在して...

スリスワント
介護福祉士の資格を目指すため、みちのく荘で3年間働きました。
みちのく荘の介護士としての経験が、今回の試験に大きく影響を与えました。

平成22年の1月に介護福祉士候補生としてみちのく荘にやってきました。
ムルヤダイヌさん(通称ムルさん)、スリスワントさん(通称ワントさん)が、1月27日(日)に介護福祉士試験を受験しました。

この3種の内、カモメだけはユーラシアと北米大陸西南部で繁殖し、日本には冬鳥として渡来する。
オオセグロカモメは主に北海道の島部で繁殖し、ウミネコは八戸市無島の他に北海道から九州まで集団繁殖地がある。

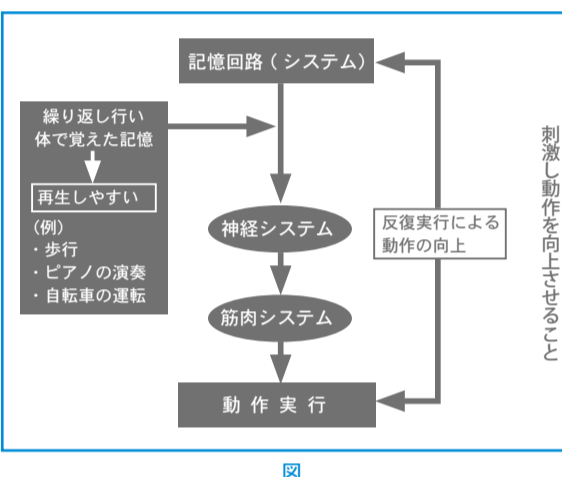


しもきた彩彩
四季の彩りの中に隠れている小さな生命、それぞれの個性、違いや名前を知るだけで、なぜか新しい友人を見つけた気持ちになります。

シリーズ 科学的介護のススメ その4

みちのく荘では、科学的介護の実践に取り組んでいます。
科学的介護とは、「水・食事・排便・運動」といった基本ケアを、科学的根拠に基づき適切に行うことで、利用者の身体・精神両面を高める介護技術です。

介護力向上委員会 濱田郁子
人が自分で何かをするとき、最初の動作は歩くことです。
トイレや食事など、生活行為のすべてに歩行が直結しています。



①歩行そのものを練習する
「歩くには歩く練習を」です。
キャストが付歩行器で歩行練習をします。

金谷新施設 入居希望者を募集中!!

「特別養護老人ホーム金谷みちのく荘」と「みちのく金谷ショートステイ」の入居申込みの受付を随時行っております。

短期入所利用者 Aさん 86歳
平成24年4月自宅で転倒し左大腿頸部骨折しました。手術せず寝たきりで退院し、認知症の行動障害により再転倒の危険もありました。

7月からショート利用を始め、水分・食事・排泄・投薬を見直し、12月からは毎日食堂への歩行器歩行往復(30m×4回)を始めました。
最初は歩行器の使い方もままならず、職員が抱えていましたが、2、3日すると右左...と自然に足が動きました。

金谷新施設への入居希望者を募集中!!
「特別養護老人ホーム金谷みちのく荘」と「みちのく金谷ショートステイ」の入居申込みの受付を随時行っております。

金谷新施設 内覧会開催のお知らせ

いよいよ4月1日、金谷に「特別養護老人ホーム金谷みちのく荘」と「みちのく金谷ショートステイ」がオープンします。

施設の種類
ユニット型地域密着型老人介護福祉施設(3ユニット、定員29名)
ユニット型短期入所生活介護事業所(1ユニット、定員11名)

Q.今年の夏に十二林に開設される、みちのく荘メディカルケアセンター内の「みちのくクリニック」は、みちのく荘の利用者だけが利用できる診療所ですか?
A.いいえ違います。

みちのく荘 Q&A コーナー
診察科目
・内科
・リハビリテーション科
※小児科はありませんので、15歳以上の方が利用の対象となります。

「懐かしの下北」風景写真展を企画しています。

十二林地区に今夏オープン予定の「みちのく荘メディカルケアセンター」にて、下北地域の「懐かしい写真」のパネル展示を企画しています。
市民のみみなさまの貴重なお写真をお貸しください。募集する写真は昭和20年代から40年代頃のもので、現物の写真以外に画像データでも受け付けています。



ニツシヨク 青森県むつ市大曲二丁目13-35
電話 (0175) 22-7222
FAX (0175) 22-7081

下北文化会館 指定管理者 株式会社 東京堂
様々な用途でお役立てください。
TEL 22-8411 FAX 22-8414

株式会社 むつ日産
新型シルハイ誕生
その優雅さに、感動する。
TEL 0175-22-2284